

講演抄録

「令和8年6月実施の歯科診療報酬改定内容について」

公益社団法人 日本歯科技工士会

「製作技工に要する費用」に関わる検討委員会

令和8年6月に実施される歯科診療報酬改定において、日本歯科技工士会が厚生労働省へ要望した項目を主とした「CAD/CAM インレー」をはじめとする歯科技工技術点数の引き上げとともに、歯科技工所の歯科技工士の確実な賃上げを図るための「歯科技工所ベースアップ支援料」の新設、歯科医師と歯科技工士のさらなる連携推進を図るための加算点数の見直し、局部義歯に附属されるクラスプ、バーの保険医療材料は基本的にコバルトクロム合金の使用、「3次元プリント有床義歯」の新たな評価等の改定が実施されますので、歯科技工士にとって大切に必ず知っておくべき内容を詳しくお知らせします。

また、歯科医療に資する安全で良質な歯科補綴物等を安定的に供給するためには、製作を委託する側の歯科医療機関と、受託する側の歯科技工所の双方が、保険点数のしくみ等について共通認識を持ったうえで、適正な歯科技工料金を設定した上での委託・受託が行われる必要があります。

今回の講演では、次期歯科診療報酬改定の内容のみならず、歯科技工所の健全運営のため皆さんに役立つ情報を提供しながら知識の共有を図りたいと思います。